

林を未来へ

などにより、世界規模で森林づくりの必要性・

大な県土面積の約7割※が森林に覆われた森林
来へ引き継ぐための取り組みが行われています。
する林業アカデミーふくしまについて紹介します。



福島県もりの案内人

(左) 氏家 武さん[川俣町]、(右) 佐藤 典子さん[福島市]

氏家さん 子どもは自然離れが進んでい
る親しんでほしいと思っ山や森に
素晴らしさや楽しさ、地球環境を守
る重要な役割などを伝えてい
ます。自然観察などを通じて、森の
大人も自然にあまり触れたことが
ない方が多くなっています。ぜひ親
子で自然の中に何回でも出かけて、
自然の変化や新たな気付きについて
親子で共有してほしいです。そうい
う経験をした子どもたちは、きっと
大人になっても自然に親しみ、自然
を大切にしてくれると思います。
今後、一人でも多くの方に山や
森の魅力を伝えていくため、スキル
アップを怠らず頑張っていきたい
です。

佐藤さん 昔から植物や生き物が好
きで、それを生かしたボランティア
活動がしたくて、もりの案内人にな
りました。
小学校などから依頼を受けて活動
したり、「フォレストパークあだた
ら」でお客さんを案内したりしてい
ます。私の話を聞いた皆さんが「自
然ってすごいな」「不思議だな、面
白いな」と気付き、自然や生態系の
大切さなどを自分から考え始めてく
れるのが大変うれしいです。
活動を始めて10年以上経ちますが、
まだまだ勉強不足です。山や森に行
くたびに、季節や天気によって新し
い発見があります。これからも自分
自身で色々なことを経験して、皆さ
んにお伝えしたいですね。



山や森には気付きがいっぱい



福島県もりの案内人とは？

福島県もりの案内人は、自然観察会や野外活動、森林づくり活動などを通して、一緒に学びながら森林の役割や大切さを広く県民に伝えていくボランティアによる指導者で、福島県が認定を行っています。

現在、もりの案内人の認定を受けた方は595名で、県内各地で活躍中です。

福島県もりの案内人 検索 県庁森林保全課 ☎024(521)7441

講師をお願いするには？

森林関係のイベントや学校の環境学習などで、講師としてもりの案内人の派遣を希望する場合はフォレストパークあだたら内の「福島県森林ボランティアサポートセンター」までお問い合わせください。

福島県森林ボランティアサポートセンター 検索

☑ ふくしま県民の森
フォレストパークあだたら
☎0243(48)2040



佐久間建設工業株式会社(三島町)

(左) 二瓶 至隆さん[会津坂下町出身]、(右) 西 恭平さん[飯館村出身]

特集

豊かな森

地球温暖化やSDGs(持続可能な開発目標)重要性が高まっています。

福島県は、全国第4位※の森林面積を有し、広県であり、県民共有の財産である豊かな森林を未森林で活躍されている皆さんや、令和4年度に開講

※出典 林野庁「都道府県別森林率・人工林率(平成29年3月31日現在)」



林業は木や森が好きな人におすすめ

二瓶さん 県立会津農林高等学校の森林環境科卒業後、チェーンソーを使えたらカッコいいなと思って林業に就きました。就職後、林業にどんどん興味を持ち、今は自分に合っていると思っています。

林業の一番のやりがいは、自分で切って山から運び出した木が建築や家具の材料になって誰かの役に立っていることです。

会津地方には木がいっぱいあるのに、整備されずに荒れている山が多いです。今後、林業従事者が増えて林業がもっと盛んになり、山が整備されるようになるとうれしいですね。木や森に興味がある人、アウトドアが好きな人であれば、はじめは興味本位でいいのでぜひ林業への就職を考えてみてください。

西さん 前職の住宅建築の仕事を通して、材木ならではの気持ちよさや美しさなどの魅力を知りました。その魅力を自分の伐採した木を通して多くの人に感じてもらいたいと思い、林業に転職しました。

林業の仕事はチェーンソーや重機といった機械仕事が多いのですが、その扱いに慣れていくことで女性でも取り組める仕事だと思っています。安全対策は特に気にしており、チェーンソーパンツや保護ブーツの着用が基本です。

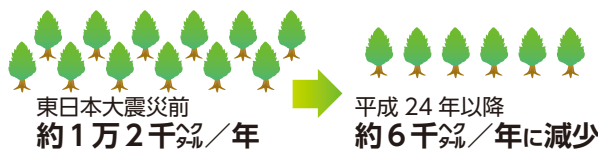
山で伐採し苦労して搬出した木材を製品にして手元に残せることもありモチベーションになっています。自然豊かな環境で作業をしていると、ふとした瞬間に林業という仕事の充実感を味わえますね。

森林整備の停滞と林業従事者の高齢化

県内の森林は、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の影響により、森林整備や林業生産活動が停滞しています。また、新規林業就業者が減少しており、荒廃が懸念されています。

森林・林業の再生を図るためには、森林整備や木材利用の推進と、それらを担う林業従事者の育成が課題となっています。

●県内の森林整備面積



●県内の林業従事者

林業従事者は、国勢調査によると平成27年が2,183人で平成22年と比較すると横ばいですが、年齢構成では65歳以上の割合が増加し高齢化しています。

将来、福島県の森林で働いてみませんか！



令和4年
4月開講

林業アカデミーふくしま

長期研修生 募集！

充実した講師陣により、最先端の林業技術を学べます！

福島県産材を使用した、最先端林業技術の学び舎が郡山市に誕生



研修施設のイメージ

所在地 〒963-0112 福島県郡山市安積町成田西島坂1 (県林業研究センター内)

最新の林業機械・機器、訓練装置を導入し、
実践力を有する林業従事者を育成！



年間最大142万円の研修給付金

研修修了後、1年以内に林業分野に就職し、地域林業の中核を担う意志を持っている方に対し、研修に専念できるための給付金制度があります。

受講条件

次の2つの条件を全て満たす者

- ① 高等学校卒業または同等以上の学力を有する者
- ② 県内の林業事業者へ就業希望がある者

募集定員

15名程度

研修期間

1年間(令和4年4月から令和5年3月)

受講手数料

年額118,800円
※別途作業服等の費用が必要です。

応募方法など、詳しくはホームページをご覧ください。

林業アカデミーふくしま

検索

☎ 県庁林業振興課

☎ 024(521)7426

☎ 県林業研究センター

☎ 024(945)5974



知事メッセージ

Message

次世代へつなぐ
森林づくり

福島県知事 内堀 雅雄



県内の広大な森林は、福島県が誇るすばらしい宝です。地球温暖化防止や生物多様性の保全に重要な役割を果たすなど、私たちに様々な恵みをもたらしてくれまます。

県では、福島県森林環境税を活用して「森林環境の保全」や「森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成」に取り組んでいるほか、森林を守り育てる人材の育成などを行っています。

今後も、豊かな森林を維持、管理し、次世代に引き継いでいくため、個人や家庭、企業・NPOなどの団体と力を合わせ、県民一人一人が参画する森林づくりを進めていきます。

